

やまぐち 市議会だより

3 6 9
12月
定例会

NO.58

未来に向けた 新しい生活へ

定例会ピックアップ	2
議案の審査結果	5
委員会 ア・ラ・カルト	6
市長に聞きたい!	8
議会からのお知らせ	15



援を！



新型コロナウイルス感染症
経済対策

第7弾！

12月
定例会

2020年
11/30～12/21

上程された議案

予算

6件

条例

12件

事件議決

54件

新型コロナウイルス関連

●新型コロナウイルスワクチン
接種体制の確保 [500万円]

国からワクチンの供給が開始された
際に、対象者となる市民へ速やかにワク
チン接種ができるよう案内、予診票、相
談体制の整備などの準備を進めるもの
です。

●地域外来検査センターの拡充
[1963万円]

季節性インフルエンザ流行期における
発熱患者の増加に備え、センターにおけ
るPCR検査体制を拡充し、これまで週
2日であった運営日を、最大で週5日に
拡充するものです。



指摘・要望

- 円滑なワクチン接種に向けて、万全の体制を整え、市民に十分な情報提供を行ってほしい。
- 関係機関ともしっかりと連携し、市民の安心・安全を守っていくための準備を行うこと。



指摘・要望

- 山口市医師会、吉南医師会等の関係機関と調整の上、検査体制を整備されたい。
- 地域医療の疲弊度合いを増やさぬよう、検査方法や人員整備など十分吟味され、医療現場の負担軽減を図られるようお願いしたい。

●ひとり親世帯臨時特別給付金の給付(再支給)
[1億9000万円]

新型コロナウイルス感染症の影響により、子育てと仕事を一人で担うひとり親世帯に特に大きな困難が生じていることを踏まえ、子育てに対する負担の増加や収入の減少に対する支援のために支給されている、ひとり親世帯臨時特別給付金について、国の補正予算に伴い、「基本給付」の再支給を実施するものです。

これまでに給付を受けていない方で、12月時点で感染症の影響により収入が急変された方などは相談を。



詳しくは市ウェブサイト
「ひとり親世帯臨時特別給付金
(基本給付)の再支給」



●救急業務における感染防止対策の強化
[600万円]

感染防止衣・手袋、医療用マスク、人工呼吸用フィルター、消毒液等、必要な物品の購入を行うものです。季節性インフルエンザとの同時流行にも備え、一部の備品については価格高騰や発注個数の制限があるなか、早期に執行し、備蓄分と合わせた十分な数量を確保することにより、万全の救急業務体制を維持していくとの説明がありました。

●医療機関における感染防止対策の強化
[2690万円]

●高齢者への検査費用の支援
[372万円]

●市役所窓口の混雑緩和に向けた取組
[750万円]

6ページに関連記事あり(総務委員会審査)

●公共施設の感染拡大防止対策
[834万円]

7ページに関連記事あり(経済建設委員会審査)

未来に希望がもてる支



収穫前を襲ったトビイロウンカ(害虫)の異常発生や台風被害により、水稲の品質は低下し収穫量は激減しました。

長年農業を営んでこられた農業者からは「もう農業をやめたい」「子や孫の代にはやらせたくない、田は残したくない」「自分の家で食べるお米もない」といった悲痛な声があがっています。

県内作況指数 全国最低の「73」(平年「100」)

山口市を含む県西部については「67」で過去最低を記録

12月定例会

ピックアップ

pick up

生産意欲の向上と
今後の経営の継続を図るために
●水稲生産農業者支援事業費

〔5000万円〕

被害を受けた水田10アールあたり1000円の支援給付金を給付するものです。

農業者の切実な状況を聞いた多くの議員から、さらなる支援を求める意見が出されました。

市は、県が創設する次年度の作付に必要な種子の購入経費を助成する事業や、山口県農業協同組合等の関係団体との協力による防除に係る技術的支援等と一体となった対応を検討しています。

今後、このたびの支援給付金への上乗せも含めた積極的な支援を検討していくことを確認しました。



指摘・要望

- ・さらなる支援を!!
- ・このたびの支援給付金の給付業務で構築する、市から農業者への直接支援の仕組みを今後も活用すること。
- ・目に見える支援をスピード感を持って実行すること。

議案第63号 教育長の任命(再任)

藤本孝治教育長の再任を全会一致で同意しました。

本会議における議員からの質問に対し教育長は、「地域への愛着や誇りを持つことができる子ども、自信を持って自ら未来を切り拓いていく子ども、命を大切にし相手を思いやることのできる子どもを山口のまち全体で育てていく」との心強い決意を表明しました。

まずは、支援給付金の申請を!

指定管理者の指定

新たに指定管理施設となる十
朋亭維新館を含む38の公共施
設の指定管理者を指定する議
案を審査しました。

民間のノウハウや施設機能の
発揮を促すため、競争の必要性
や地域に密着した自主事業の実
施とその評価、市の施策への貢
献度や市の積極的関与など、各
施設特有の課題に対する意見
や、指定管理者の選定や評価の
基準・方法といった制度そのもの
に言及する意見も多く出されま
した。

指摘・要望

- ・放課後児童クラブについては、新型コロナウィルス感染症の影響による臨時休業にもしっかりと対応されたことに感謝する。子どもたちを地域で支えられるよう、緊急の場合は、行政側も支援体制を一緒に考えて、行政の最大限の努力により、働きやすい環境整備に尽力されたい。
- ・各施設が市民から親しまれ、健全に運営されるためには、利用者目線の審査も必要であることから、選定委員の人選にあたっては、より多角的な視点から審査ができるよう望む。

気にもなる動き

マース
産業交流拠点施設とMaaSによる移動手段の実証実験

令和3年4月、いよいよ新山口駅北口に産業交流拠点施設が開館し、続く7月には、2千人の収容が可能なメインホールの供用開始によりグランドオープンとなります。今後、コンベンションやコンサートなど全国から多くの人たちが本市を訪れることが予想されています。

そのような中で、来訪者をいかに湯田温泉などの宿泊施設に誘客するかが大きな課題となっています。

このような来訪者に対して、MaaS(やまぐちMaaS用Webアプリ「やまぶら」)を活用した複数の交通機関を組み合わせた移動手段の提供、新山口駅から山口都市核までの乗合タクシーの実証実験など、より利便性の高い移動方法の提供を計画しています。

本市では、ラストワンマイルの移動手段として、令和2年9月からシェアサイクルの実証実験をスタートし、現在、新山口駅や湯田温泉、山口駅、山口大学周辺など市内13か所に展開しています。また、12月からは湯田温泉の宿泊施設と観光案内所などの3か所に、1～2人乗りの超小型モビリティを配置し、観光客の移動を容易にするなど、交流人口拡大と利便性向上策を検討しています。

脱炭素化が叫ばれる中で、このようなCO₂を排出しないシェアサイクルや電動小型モビリティの導入に市民の注目も集まっています。



湯田温泉観光案内所、ユウベルホテル松政、一の坂川交通交流広場にて無料貸出の超小型モビリティ

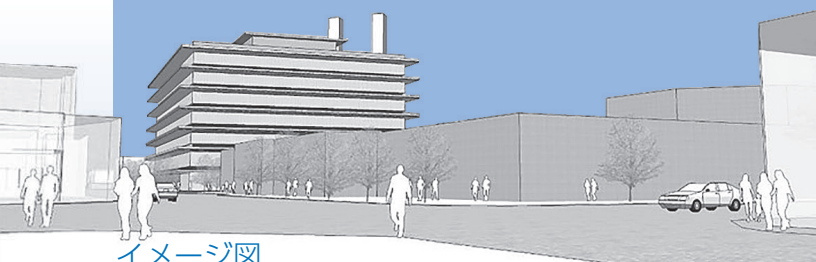


シェアサイクルは各地に設置されたステーションで貸出、返却が可能

新本庁舎の建設等に関する調査特別委員会 ～第6回中間報告(要旨)～

令和2年12月を目途に取りまとめる予定となっていた基本設計が、電気・機械設備の計画検討や、周辺道路及び構内道路の形状等の協議に時間を要し、スケジュールが遅れているとの説明がありました。質疑の中で詳細を確認し、今後の見通しを確認しました。

また、整備コストが10億円以上増加する地下駐車場部分の再検討を求める意見や、中心商店街等の周辺駐車場の活用などによる必要台数の精査を求める意見がありました。加えて、周辺道路からの歩行動線の検討状況、コンビニエンスストアや金融機関等の配置状況、ユニバーサルデザインや職員の働き方の観点からの執務エリア、休憩室の在り方、BCP計画における災害時対応、環境に配慮した照明設備の検討等、多岐にわたるテーマで議論しました。



イメージ図

議案の審議結果

全員賛成で可決した議案

予 算

- 令和2年度山口市一般会計補正予算（第9号）
2・3ページに関連記事
- 令和2年度山口市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- 令和2年度山口市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
- 令和2年度山口市介護保険特別会計補正予算（第2号）
- 令和2年度山口市一般会計補正予算（第10号）
2ページに関連記事
- 令和2年度山口市一般会計補正予算（第11号）
2ページに関連記事

条 例

- 山口市議会の議員の議員報酬及び非常勤の職員の報酬並びに費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
- 山口市特別職の給与に関する条例の一部を改正する条例
- 山口市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- 山口市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- 山口市地域経済牽引事業の促進のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例
- 山口市放課後児童クラブ設置及び管理条例の一部を改正する条例
- 山口市山口児童館設置及び管理条例の一部を改正する条例
- 山口市徳地老人福祉センター設置及び管理条例を廃止する条例
- 山口市デイサービスセンター設置及び管理条例の一部を改正する条例
- 山口市国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 山口市水道事業等の設置等に関する条例及び山口市下水道条例の一部を改正する条例
- 山口市阿知須地域下水道事業受益者負担に関する条例

事 件 議 決

- 字の区域の変更並びに町の区域の新設及び変更について
- 字の区域の変更について
- 山口南総合センターの指定管理者の指定について
- 山口ふれあい館の指定管理者の指定について
- 十朋亭維新館の指定管理者の指定について
- やまぐちリフレッシュパークの指定管理者の指定について
- やまびこ学級の指定管理者の指定について
- すずみ学級の指定管理者の指定について
- すずみ第2学級の指定管理者の指定について
- うえき学級の指定管理者の指定について
- みなみ学級の指定管理者の指定について
- しょうだ学級の指定管理者の指定について
- ひめやま学級の指定管理者の指定について
- さわやか学級の指定管理者の指定について
- もみじ学級の指定管理者の指定について
- もみじ第2学級の指定管理者の指定について
- なかよし学級の指定管理者の指定について
- わくわく学級の指定管理者の指定について
- くすのき学級の指定管理者の指定について
- たんぽぽ学級の指定管理者の指定について
- はちのこ第2学級の指定管理者の指定について
- 山口小鯖高齢者生きがいセンターの指定管理者の指定について
- 山口市大内高齢者生きがいセンターの指定管理者の指定について

- 山口市宮野高齢者生きがいセンターの指定管理者の指定について
- 山口市吉敷高齢者生きがいセンターの指定管理者の指定について
- 山口市平川高齢者生きがいセンターの指定管理者の指定について
- 山口市陶高齢者生きがいセンターの指定管理者の指定について
- 山口市鑄銭司高齢者生きがいセンターの指定管理者の指定について
- 山口市名田島高齢者生きがいセンターの指定管理者の指定について
- 山口市秋穂二島高齢者生きがいセンターの指定管理者の指定について
- 山口市嘉川高齢者生きがいセンターの指定管理者の指定について
- 山口市佐山高齢者生きがいセンターの指定管理者の指定について
- 山口市小郡高齢者生きがいセンターの指定管理者の指定について
- 山口市小郡高齢者生きがいセンターさるびあ館の指定管理者の指定について
- 山口市串地区老人作業所の指定管理者の指定について
- 山口市老人福祉館及び山口市山口児童館の指定管理者の指定について
- 山口市宮野地域交流ステーションの指定管理者の指定について
- 山口市働く婦人の家の指定管理者の指定について
- 道の駅「きらら あじす」の指定管理者の指定について
- 阿東ふるさと交流促進センターの指定管理者の指定について
- 小郡体育館耐震補強・改修工事の請負契約の締結について
- 徳地地域複合型拠点施設新築機械設備工事の請負契約の締結について
- 徳地地域複合型拠点施設新築電気設備工事の請負契約の締結について
- 徳地地域複合型拠点施設新築工事の請負契約の締結について
- 新山口駅北地区拠点施設建設工事の請負契約の一部を変更することについて

- 山口市立小中学校教育用コンピュータの取得について

6ページに関連記事

- 教育長の任命について
藤本孝治氏（再任）
- 教育委員会の委員の任命について
佐々木司氏（再任）
- 固定資産評価審査委員会の委員の選任について
上田雅憲氏（再任）
- 固定資産評価審査委員会の委員の選任について
内山秋久氏（再任）
- 固定資産評価審査委員会の委員の選任について
益田正規氏（再任）
- 固定資産評価審査委員会の委員の選任について
竹下雅樹氏（新任）
- 固定資産評価審査委員会の委員の選任について
木村葉子氏（新任）
- 固定資産評価審査委員会の委員の選任について
福田智里氏（新任）

慎重な
審議の結果、
今定例会では
72議案を
可決しました。



新たに指定管理者を指定した「十朋亭維新館」

各委員会の所属議員、
所管する部局、日程など、
詳しくは市議会ウェブサ
イトに掲載しています。



感染症対策につながる スマート自治体の取組は

窓口における混雑の軽減や待ち時間の短縮を図るため、来庁者
が特に集中することが見込まれる山口総合支所市民課及び小郡総
合支所総合サービス課に、待合状況をリアルタイムで確認できる
機器を導入する。待合状況の確認は、ウェブサイトからも可能で
あり、山口市LINE公式アカウントとの接続も予定している。

(担当部局：総務部)

総務
委員会

LINE公式アカウントの 利用状況は

8月から運用開始した山口市LINE公式アカ
ウントは、登録者数が1万2千人を超え順調に推
移している。ごみの分別品目や捨て方の問い合わせの
応答を自動で行うチャットボット機能等が好
評である。

今後は、新たなコンテンツの運用開始などに
より内容を充実させ、多くの方に登録されるよう市
ウェブサイトや市報など様々な方法で広報して
いく。

(担当部局：総合政策部)

LINE 公式アカウント名：山口市
LINE ID：@yamaguchi-city



総務
委員会



児童生徒1人につき1台の 教育用コンピュータ端末の整備

子どもたち一人一人に個別最適化され、創
造性を育む教育環境を整備（GIGAスク
ール構想の実現）するため、児童生徒に1人1
台の端末を令和3年3月末までに配備する。

端末や電子黒板などのICT機器を活用す
ることにより、授業スタイルが大きく変化す
る中、子どもたち同士が意見交換し、他の意
見をもとに自分の考えを深めるなどの場面が
増えてきている。

ICT機器を効果的に活用するためには、教員のICT活用スキ
ルの向上が不可欠であるため、研修等によりスキルアップを図る。
また、インターネット環境が整備されていない家庭に対する通
信環境整備のための支援策等についても検討していく。

(担当部局：教育委員会)



端末や電子黒板を使った授業

教育民生
委員会



新たな住居表示「小郡令和」 地域住民等との合意形成は

新山口駅北側の区域において新たな住居表
示を実施する。自治会等とは令和元年度より
住居表示の目的や町割、新町名等について協
議している。

今後、区域内の地域住民に対し、実施後の
手続について説明会を開催することとしてい
る。事業所については、法人登記の変更等も
必要となってくることから、法務局と連携を
とりながら登記手続について案内していく。

市民の意見を伺い、合意形成を図りながら
住居表示を進め、合理的で誰もが分かりやす
いまちづくりに取り組んでいきたい。

(担当部局：地域生活部)

委員の意見

- ・実施により法人登記手数料や各種経費も伴う事業所への説明は、自治会任せにならないよう市から丁寧に説明して合意を得るように。

生活環境
委員会



コロナ禍においても国際交流を進めるために

経済建設委員会

姉妹都市交流については、先行きの見えない状況ではあるが、相手方の都市との情報交換は随時行っており、新たな交流の機会を模索している。

また、市内における多文化共生を推進することとしており、外国人市民や留学生、技能実習生等と地域住民とが交流できるきっかけづくりや、市民団体や企業、ボランティア等とのネットワークづくりにも積極的に取り組んでいくこととしている。

(担当部局：交流創造部)

委員の意見

- ・商業的な相互利益や言語学習等の戦略的な交流を求める声もあるが、姉妹都市との交流は、人とのつながりや歴史的関係を通じて行われてきたことを大切にされたい。
- ・国土の交流事業の再開が期待できない状況が明確であるならば、来年度に限定して市内での交流事業や人材育成に注力するなど、メリハリある予算編成を求める。



サーモグラフィの導入にあたって気をつけていることは

経済建設委員会

KDDI 維新ホール（2000席）、山口市民会館（1500席）入場者の体温チェックについては、来場者が込み合うことなく短時間で正確に行うことが重要である。

高額であり、性能や保守管理等にばらつきのある機器であることから、他施設での導入実績や評価等も参考にしながら慎重に検討している。

(担当部局：経済産業部・交流創造部)

委員の意見

- ・専門的知識を有する機器の選定にあたり、部局を越えて協力し、検討されたことを評価する。



使用済小型家電製品宅配回収とこれまでの拠点回収の住み分けは

生活環境委員会

使用済小型家電製品については、これまで地域交流センターなどに設置しているリサイクルボックスで拠点回収を行っている。宅配回収サービスは、市民が排出にかけなくても宅配業者が自宅まで回収に来てくれるもので、拠点回収場所への持ち込みが困難な方にとっても排出が容易になる。個人情報等を抹消した上で安心して排出することができると、所定の大きさの段ボール内で小型家電製品にパソコンが含まれていれば、基本的に回収費用が無料になるなど市民の利便性も向上する。

また、使用済小型家電製品に分類されない品目である小型充電式電池やモバイルバッテリー、ボタン電池、電子たばこ、加熱式たばこについても、市において新たに拠点回収を始めている。これらは家電量販店等での排出をお願いしているが、大半は燃やせないごみとして排出され、収集時や不燃物処理時に発火する事案も発生していることから、市民の利便性の向上も含め、廃棄物の適正な処理及び安全なリサイクルの観点から回収に取り組んでいく。

(担当部局：環境部)



宅配便による自宅回収（パソコンの無料回収）と拠点回収のお知らせチラシ
(市ウェブサイト掲載)



総合支所・地域交流センター等に設置の回収ボックス



パソコンを含む小型家電製品を箱詰めした段ボール

市長に聞きたい! どうなる? これからの山口市



★議員が何を質問したか、読んでみましょう!

★質問と答弁の映像は、各議員の二次元コード  からも見られます。

※必要な場合には、二次元コードリーダーをインストールしてご覧ください。

※情報の受信にかかる通信料は、利用者負担となります。

★一般質問の制限時間は、質問と答弁をあわせて50分です。

予算 令和3年度予算編成方針に込めた思い

「I 基本的な考え方」のイメージ図

第二次山口市総合計画 中期計画 豊かな暮らし 交流と創造のまち 山口 ~これが私のふるさと~

「暮らしを守り 未来を築く」 予算

社会の変化に柔軟に対応可能な「新たな日常」の構築

- ① 豊かで安心できる暮らしの実現
- ② 「好影響・好循環のまちづくり」の実現
- ③ 「Society5.0」の実現

8つの重点プロジェクト



(令和3年度予算編成方針)

●その他の質問
○ウイズコロナにおける「山口ゆめ回廊博覧会」の在り方

問 11月に発表した令和3年度予算編成方針から「コロナ禍でも市民生活を守り、本市の将来を見据えたまちづくりを着実に進めていく」という市長のぶれることのない力強い思いを感じた。予算編成方針に込められた市長の思いを伺う。

答 新型コロナウイルス感染症への対応をはじめとした今に生きる市民の暮らしの安心の実現と本市の未来を築く好影響・好循環のまちづくり、Society5.0の実現に向けた取組を力強く進める予算としていきたい。



自由民主党山口
原 真也

はら しんや



産業 山口市産業交流拠点施設について

宿泊施設や飲食店、印刷、看板、イベント会社等、市内事業者がその効果を実感できるよう、指定管理者、山口観光コンベンション協会、山口商工会議所市内各飲料組合等とも連携し、仕組みづくり、体制づくりを進めていく。



高め、広く地域経済の活性化を図っていく。

問 産業交流拠点施設が新山口駅前 completion することで、本市全体のまちづくりにとどのような効果をもたらすのか。

答 山口県ナンバーワンのビジネス街の形成につなげていく。まずは、コンベンション、コンサート、イベント等の誘致開催による経済効果を山口都市核をはじめ地域全体に波及させることが重要であると認識している。市民はもとより、広域から様々な人に足を運んでいただき、エリアの価値を高め、広く地域経済の活性化を図っていく。



県都創生山口
瀧川 勉

たきがわ つとむ



施設

誰もが使える、誰もが楽しめるメインホール



問 山口市産業交流拠点施設のメインホールにおけるヒアリンググループの設置状況について伺う。

答 メインホールにFM補聴装置無線式による集団補聴装置を設置することとしている。しかしながら、難聴には伝音難聴や感音難聴・混合性難聴等があり、ヒアリンググループは受信機を介在するFM補聴装置無線式に比べ音声が届き取りやすいケースがある。施設はメインホールだけでなく多様な空間があるので、施設全体での利用を想定し、必要な場所にループアンテナのエリアを作る事ができる携帯型のヒアリンググループシステムの整備について検討を進めている。リース機器を活用するなど、個別対応にも指定管理者と連携を図りながら取り組んでいきたい。

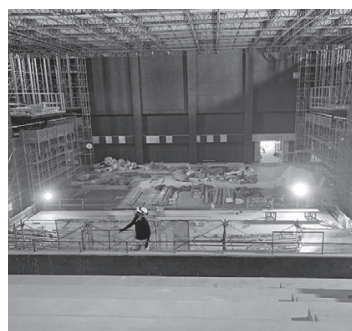


公明党
山本 敏昭



産業

新山口 産業交流拠点施設 メインホールの活用



建設中のメインホール

問 現時点で決まっているメインホールでのイベントがあるか。また、稼働率を高めるためには、類似施設とのコスト的メリットに加え、積極的な営業展開、大規模イベントに対する補助金等のインセンティブなど柔軟な対応が必要と考えるがいかがか。

答 大物アーティストのコンサートなどの仮押さえやカラオケ系イベントの開催が決定している。基本料金も隣県類似施設と比べ低設定であり、立地条件や施設の新しいなど広域的な視点から競争力はあると認識している。大型コンベンションの誘致に向け、交通便利性の強化や補助金増額等の調整を行っている。



ふるさと共創やまぐち
宮川 英之



予算

令和3年度予算新型コロナウイルス感染症対策は

●その他の質問
○アフターコロナを見据えた地方創生について

令和3年度予算においてどのような対応、対策を取るのか伺う。



問 令和3年度予算編成方針において、全ての施策分野について新型コロナウイルス感染症への対応について積極的に検討を行うこととしている。とりわけ新型コロナウイルススワクチンの接種については、市民の皆様が円滑に接種できるよう接種体制の確保を図っていきたいと考えている。また、ウィズコロナにおける取組を教育・子育て・産業振興・医療・介護をはじめとする各施策分野において全力で進めることにより、今に生きる市民の皆様の暮らしにおける安心の実現を図っていききたい。



高志会
伊藤 青波



行政

「デジタル化」は住民福祉・業務負担改善に

問 政府の「自治体戦略2040構想」に基づく取組が進めば、公共サービスの民間化・市場化・産業化につながり、ひいては地方公共団体の自主性を脅かし、地域住民の意見や願い、要求を無視したまちづくりが進むと考える。地方自治の本旨である住民自治、団体自治に基づき、住民・議会・行政が一体となったまちづくりを進めるべき。

答 国は目指すべき地方行政の姿として、技術の進展を最大限活用しスマートなものの改革する地方行政のデジタル化や、他市町や県との地域の枠を超えた広域連携が重要とされた。本市としては、市民・議会・行政が一体となり策定した第二次総合計画に掲げる事業と同じ方向性であると考えており、その取組を進めているところである。



日本共産党
西村 芳和



メリハリの効いた予算編成方針か!?



・市内企業の支援策について
・予算要求基準について

○その他の質問

問 コロナ禍により大幅な税収減が予想される中、市の貯金である財政調整基金の取り崩しは、よほど優先度の高い事業でない限り市民の理解は得にくい。ましてや先送り等も可能な大型公共事業の財源に充てることは、本来の姿ではないと考える。予算編成方針における公共事業の考え方について伺う。

答 公共事業については、人口減少や少子高齢化などへの対応に向け、総合計画に位置づけて進めており、本市全体の発展につながる都市基盤整備となるものであることから、現在予定しているものについては計画どおり着実に進めていかなければならないと考えている。



市民クラブ
野村 雄太郎



医療・介護・教育現場などへ社会的PCR検査を

答 市民主体の活動を行政が後押しすることで、さらに大きく取組が広がると考える。要望があれば協力したい。



を開催してはどうか。

問 1月22日の発効日に非核平和都市として市民や被爆者、世界の人々へのメッセージを発信し、写真展などを開催してはどうか。

行政 核兵器禁止条約の発効にあわせた取組について

答 社会的検査については、現時点で国や県の方針が示されていない中、市としての実施は困難と考えている。

問 経済・社会活動を安心して行い、医療体制を守るためには無症状者の発見と保護が大事である。保育・教育・医療・介護現場を優先した社会的検査を早急にすべきだ。全国的には高齢者施設等の社会的定期検査を実施している自治体もある。

答 社会的検査については、現時点で国や県の方針が示されていない中、市としての実施は困難と考えている。



日本共産党
尾上 頼子



医療・介護保険の負担軽減でケアに手厚い地域を

問 国民健康保険の感染症対策の傷病手当は、フリーランスを含む個人事業主も対象にすべきだ。後期高齢者医療保険について、一定所得以上の被保険者の窓口での自己負担割合を2割に引き上げる検討に対し、市として被保険者の苦しい状況を意見すべきだ。介護保険は基金を繰り入れ保険料の引き下げを求める。

答 傷病手当の対象拡大は国による全国一律の制度として実施されるべきと考える。後期高齢者医療保険は全ての団塊世代が75歳以上となる令和7年以降、現役世代の負担を軽減し、制度の安定的な運営を図るための見直しであり、国に対し、保険料上昇を抑制する十分な財政措置を要望したい。次期介護保険料は準備基金の充当などで、現在の基準額を上回らないと見込む。



日本共産党
大田 たける



「史跡周防鋳銭司跡」 今後の発掘調査と活用

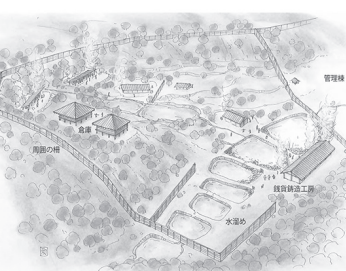
問 鋳銭司・陶地区文化財総合調査事業における発掘調査の成果と今後の保存・活用について伺う。

答 史跡の保存・活用の方性を示す保存活用計画を策定する。まずは、地域の宝として守り継承する機運の高揚、さらに将来、周防鋳銭司跡を活用したまちづくりにつながるよう事業に取り組む。

行政 空き家等の対策（空き家・空き地バンク）

問 これまでの成果と今後の市内全域への拡大は。

答 116家族348人の成約がある。これまでと同条件の地域を対象に、地域との連携体制構築を図りながら、順次、展開を図っていききたい。



古代の飛鳥遺跡の復元画（出典：飛鳥資料館 2017「早川和子が描く飛鳥むかしむかし」）



県都創生山口
野村 幹男



施設 誰もが入れる「やさしいお風呂」の実現を！



「やさしいお風呂」の事例。二次元コードから動画をご覧ください。

問 本市主導で障がい者や高齢者等、誰もが気軽に利用できる「やさしいお風呂」を造り、健康増進のソフト事業も展開することで、民間のホテル・旅館等との役割をすみ分けし、お互いの風呂を紹介し合える理想的な温浴機能を備えた多世代交流・健康増進拠点施設にすることについて、市の考えを伺う。

答 障がい者や関係者が気軽に入浴できるような浴室の整備水準についても、民間宿泊施設との役割分担を含め、公共施設である本施設の浴室に求められている機能と認識していることから、今後、基本設計において関係者の意見を伺いながら検討したい。



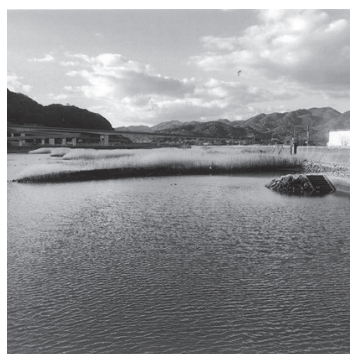
公明党
其原 義信



行政 榎野川を一級河川へ、県土木建築事務所を本市へ

問 道路河川など都市の骨格を整備する県土木本所が県庁所在地にないのは本市だけ。復帰を県に再度要望すべきだ。

答 そうした意見がある旨は県に伝えているが、現時点では、そのような形は検討していないとのことである。



土砂堆積が進む榎野川の河口域

問 榎野川は平成21年・25年に氾濫し、家屋や上水道が冠水した。河口域の土砂堆積も進んでいる。将来を見据え、榎野川を一級水系へ変更するよう働きかけるべきだ。

答 土地改良区等の水利関係者から一級水系への変更やその要望の必要性は感じていないとの意見も伺っており、現状での要望は考えていない。



高志会
氏永 東光



福祉 市民が安心して過ごせる認知症介護支援策を！



もしも 気になるようでしたらお読みください（認知症啓発冊子）（市ウェブサイトで紹介）

問 認知症の方と介護をされる方が笑顔で過ごせるような取組や考えを伺う。

答 介護者の方の負担軽減を図るため、高齢者等の柵や杖にGPS端末を取り付けておくことにより、行方不明時に現在位置が確認でき、早期発見につながるGPS端末機器等の購入助成に新たに取組む。令和3年度は、対象者や補助方法等を検討することとしている。こうした取組により、認知症の方や家族が、自分らしく元気に暮らし続けることができるまちを目指していく。

●その他の質問
○保育所の待機児童ゼロに向けた取組



山口維新の会
竹中 一郎



農業 農家に寄り添った支援策を！

問 令和2年の水稲については、トビイロウンカの大発生による被害や台風による塩害により、大きな損失となった。本市の支援策を伺う。

答 農家の皆様の生産意欲の向上と今後の経営の継続を下支えすることを目的として、被害を受けた農家の皆様に対して、令和2年産の水稲作付面積に応じて支援する水稲生産農家農業者支援給付金制度を創設した。

問 支援給付金の額が少ないと感じている。第2弾、3弾と支給額の上乗せを検討してはいかがか御所見を伺う。

答 今回のトビイロウンカ等による被害は、統計開始以降、過去最低と予測される作況指数に現われており、大変重く受け止めている。県が創設する事業と一体となった対応も検討している。



高志会
伊藤 斉



交流 徳地地域の活性化について



重源上人像

問 コロナ禍において、アウトドアや自然環境を求める人の流れが強まると予測される中、徳地地域の活性化は重源の郷のにぎわい再生なしには考えられない。徳地地域のまちづくりの将来を見据えた位置づけ、役割を問う。

答 地域全体の交流人口の創出や地場産業の振興に寄与する重要な役割を担う施設であり、重源の郷の再生なくして徳地地域の活性化はない。商工業や生産活動を営む方々、地域づくり協議会、地域おこし協力隊など官民協働によるチームを立ち上げ、外部から総合プロデューサーも起用した。月一回程度の会議を行い、方向性をまとめる。



自由民主党山口
田中 勇

たなか いさむ



交通 スマートシティに向けた取組と進捗状況について

問 MaaSを活用した小型モビリティや自動運転バス、空港タクシーの導入支援は地元住民や観光誘客のために大変重要と考えるがいかがか。

答 自動運転バスの運行は5G環境の構築が必要となることから、先日、基地局の整備を県に要望した。運転手不足の解消や観光など様々なことに活用できると認識している。

行政 命の大切さを教える教育について

問 コロナ禍の下で悩みを抱える子供たちへの関わりと命の大切さを教える教育については、とても重要と考えるが教育長の考えを伺う。

答 家族や友人、地域の方々とつながりの中で共に支え合い共に生きることの素晴らしさ、自他の生命を大切にすることや態度を育む教育の推進により一層努めていく。



自由民主党山口
湊 和久

みなと かずひさ



※MaaS(Mobility as a Service)
複数の交通機関で出発地から目的地への移動を最適化しサービスとして提供すること。

行政 自治体の経営資源である人事・財務

問 多様化・複雑化する市民ニーズに応えるため、専門知識や技能を有する外部人材の活用を進めてはどうか。

答 困難な行政課題や新たな時流に迅速かつ戦略的に対応できるよう、高度な専門的知識と豊富な経験を有した人材の確保に努めていく。

問 新型コロナウイルスの影響で歳入の確保が難しい中、自主財源をどう確保していくのか。

答 市税等の収納時の利便性向上を図り、徴収率の向上に努めながら、ネーミングライツや広告料収入の確保についてもニーズ等を考慮しながら取組を継続していく。また、貴重な自主財源の確保につながる、ふるさと産品の振興を図る上でも重要な取組である「ふるさと納税」についても、これまで以上に戦略的かつ積極的に推進していく。



自由民主党山口
馬越 帝介

まこし たいすけ



林業 今こそ林業振興体制の充実強化を！

問 脱炭素社会の動きや森林経営管理制度の両面から市町村の役割が増加する中、本市の林業振興体制の充実強化が必要と考えるがいかがか。

答 業務に携わる職員の技術や知識の習得に努め、事業の効率化や省力化など資質向上策に複合的に取り組むことで、組織体制の充実強化に努めたい。また、森林組合などの林業経営体については、労働安全や労働力確保支援をはじめ、ICT機器導入、重機オペレーター育成など、課題に対応した支援策を活用することで経営基盤の強化につなげてほしいと考えている。

●その他の質問

○定年延長について

○過疎地域の振興について



市民クラブ
山見 敏雄

やまみ としお



環境 脱炭素社会に向けて、電気自動車の導入を!

- 問** 電気自動車のパッカー車（じんかい収集車）を導入すべきと考えるがいかがが。
- 答** 環境面で大きなメリットがある一方で車両本体価格が高額であるとともに、交換電池の購入や電池を充電するためのステーションの新設など、車両本体以外にも多額の費用が必要である。導入費用や電池等の課題が解決すれば、導入の検討を進めたい。
- 行政** **デジタル格差の対策について**
- 問** 国のデジタル活用支援員推進事業を活用してはどうか。
- 答** 様々な状況を考慮し、スマートフォンなどのデジタル機器の操作方法やオンライン申請などのデジタルサービスの利用方法について、あらゆる利用者が学ぶことのできる環境の提供を研究したい。
- ※デジタル活用支援員推進事業
地域において支援員を集めて育成し、高齢者等に対してデジタル機器の活用について学ぶ場を提供する。



公明党
桜森 順一
さくらもり じゅんいち



農業 水稻被害への支援と継続的な農家支援策を!

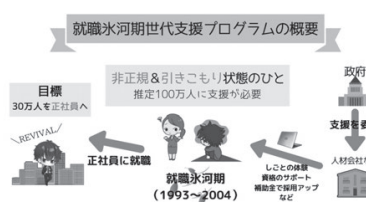
- 問** トビイロウンカ、台風による風害・塩害により最悪となった水稻被害への継続的な支援策について伺う。
- 答** 被害を受けた農家の生産意欲の向上と今後の経営継続を図るため、令和2年度産の作付面積10アール当たり千円の支援金を給付する。今後は県の施策と一体となった支援を検討し、令和3年度当初予算編成の中で、3月補正予算も視野にしっかりと検討する。
- 行政** **指定管理施設・制度の見直しについて**
- 問** 設置から年数が経ち、市民ニーズや環境等に大きな変化が見られる施設の設置目的や対象者の見直しは。
- 答** 施設の設置目的の妥当性を検証し、対象を限定せず、より多くの方に利用される施設にしていきたい方向性を持って検討していきたい。
- ※トビイロウンカ
梅雨時期に中国大陸から偏西風に乗って飛来して増殖する、イネに寄生する害虫。



京都創生山口
野島 義正
のしま よしまさ



福祉 ロスジェネ、虐待、当事者ファーストで!!

- 問** 就職氷河期世代の雇用支援。その経験や資格を行政の現場で生かしては。
- 答** 専門職や技術職において、就職氷河期世代を対象とした採用試験の実施は専門的知見を有した即戦力人材の確保に大変有益と考える。就職氷河期世代を含む幅広い世代に目を向けた人材確保について柔軟に検討していきたい。
- 問** 障がい者の虐待防止。再発防止に向けた取組について伺う。
- 答** 虐待に対し、関係機関を含めた市全体でオープンに協議・協働し、ヒヤリハット事例の検証等により知見や技術を高め、虐待防止に向けたさらなる取組を進めていきたい。
- 就職氷河期世代支援プログラムの概要
- 
- 就職氷河期世代の就労支援フロー



ふるさと共創やまぐち
中野 光昭
なかの てるあき



行政 今後のまちづくりについて

- 問** 第二次山口市総合計画は本市の最上位計画であり、令和2年度は前期基本計画の3年目となる。令和2年の県外からの移住者数は848名、農山村エリアにおける人口の転出超過は52名と抑えられており成果が出ている。今後持続可能な市政の発展を成し遂げていくため、どのような取組の方向性の下で、まちづくりを進めていくのか伺う。
- 答** あらゆる世代が暮らしの豊かさを実感でき、新型コロナウイルス感染症をはじめとした社会の変化にも柔軟に対応可能な、本市における新たな日常を構築していきたいと考えている。県都としての求心力を高め、本市全体の発展を実現させ、住んでよかった、これからも住み続けたい山口と心から思えるまちづくりを進めていきたい。



京都創生山口
山下 宏
やました ひろし



第二次山口市
総合計画



(市ウェブサイト)

子育て 児童虐待を絶対に許さない社会の実現を!

児童の養育、虐待などの相談や、ひとり親家庭の相談は、家庭児童相談室へ



(子育て支援応援サイト)

対応していきたい。

答 ヤングケアラー支援で必要とされる視点を持つて

状況を問う。

問 本来、大人が担うと想定されている家事や家族の世話を日常的に行っている子どもをヤングケアラーというが、ヤングケアラー支援の現状を問う。

答 山口市の相談通告受理に関わる児童数は、令和元年度が320人で、増加傾向にある。うち虐待として認定したものは19人で、18人が心理的虐待、または育児放棄等であった。今後も児童相談所や教育委員会をはじめとする行政機関との連携はもちろんのこと、NPO法人などの民間団体との協力体制も確立していきたい。



公明党
村上 満典

むらかみ みつり



行政 若者の出会いはネットが中心。アプリと提携を!

答 県と本市で事業が重複しないよう役割を明確にした上で、AIを活用したマッチングシステム等について研究していきたい。

問 現在の彼、彼女との出会いのきっかけは何か?

答 意識調査でインターネットは9.7%と部活や合コンを上回って第4位になっている。実際にマッチングアプリ運営企業大手の実績を聞いたところ、アプリを通じて2012年から累計30万人が恋人を見つけ、2019年に限定しても3万8千人が結婚している。一方、県が設置したやまぐち結婚応援センターは平成27年度から令和元年時点で89組の婚姻数しか出せていない。そこで、日本で一番ノウハウを持っているマッチングアプリ運営企業と提携し、結婚を支援してはどうか。

問 現在の彼、彼女との出会いのきっかけは何か?



市民クラブ
部谷 翔大

へや しょうた



福祉 子育てなら山口、多胎児家庭への支援を急げ

行政手続きのオンライン化について、必要な制度設計を検討していきたい。



問 多胎児家庭に対する支援策について伺う。

答 孤立しやすい多胎妊婦及び多胎児家庭を支援するため、多胎育児経験者家族との交流会の開催や多胎育児経験者による相談支援等を行う「多胎ピアサポート事業」に新たに組み込む。具体的には市内の多胎児親の会の運営に保健師・助産師が関わり、毎月開催されている交流会の充実や、親の会への参加者拡大等を図ることにより、多胎育児のスキルが聞ける機会や当事者同士が情報交換できる場を提供する。また、保健師等による訪問支援を通じ、多胎児家庭の実態把握を行う中で、保育園への優先的入園や一時預かり利用料の減免、ヘルパー派遣、行政手続きのオンライン化について、必要な制度設計を検討していきたい。



京都創生山口
山本 貴広

やまもと たかひろ



行政 コロナ禍のピンチをチャンスに変える取組は?

問 コロナ禍においてデジタル化の遅れなど様々な課題が明らかとなった一方、働き方の変化や地方移住への関心の高まりなど人々の意識の変化にもつながっている。本市の総合戦略における新しい時代の流れを力にする仕組みづくりの具体的な取組を伺う。

答 感染症に係る経済対策の取組の中で、感染拡大防止や市内消費喚起の取組に加え、市内のあらゆる地域においてオンライン教育やスマート農業等の展開を可能とする光ファイバー網の未整備地域への整備支援等、スマートシティ構築に向け取り組んでいる。このような新しい生活様式を定着させていくための取組は、Society 5.0を見据えた取組の前倒しとなるもので、ピンチをチャンスに変える取組であると考えている。

※光ファイバー網の未整備地域
令和2年度整備着手の地域は、仁保、陶、鏑銭司、名田島、秋穂二島、秋穂、徳地地域。



ふるさと共創やまぐち
植野 伸一

うえの しんいち





視覚障がいのある方の声を聴き、

11/17 経済建設委員会

要望書の内容を調査

新山口駅北口駅前広場整備における視覚障がい者への配慮の状況について視察を行いました。

現地では、市に対する改善要望の内容を当事者の方から直接伺いするため、当事者団体である山口市盲人福祉協会会長をはじめ3名の方にご協力いただき、議長宛に提出された要望書の内容について説明を受けました。全盲の方の意見を体感できるよう、委員がアイマスクをして白杖を持ち、関係箇所の確認等を行い現地調査を通じて当事者の不安や不便さを身をもって感じました。



手すりを伝って歩くと支柱に衝突する箇所（2階）

引き続き委員会としての調査・対応が必要であると判断したことから、12月15日の経済建設委員会において、当該施設をはじめ公共施設の設計・施工を主に所管する都市整備部に対し、今後の対応等について確認しました。

都市整備部もこのたびの要望内容をしっかりと把握しており、対応可能な箇所については、当事者の方の意見を伺いながら積極的に改修するとともに、周辺の産業交流拠点施設や駅への誘導ルートを明確にするため、点字による案内表示や音声案内システムの設置などに取り組むという前向きな答弁がありました。



床面（グレー）と誘導ブロック（シルバー）の色（輝度）の差がないため視認しづらい

委員の意見

- ・今後、積極的に当事者の意見を伺うとのことだが、当事者団体の代表であっても完璧な意見や指摘をすることは当然できないし、その方に対して責任を求めるようなことが決してあってはならない。
- ・建築物や道路・公園などの整備にあたっては、設計段階において、視覚に障がいのある人だけでなく、様々な当事者の声を聞き、あらゆる人にとって使い勝手のよいユニバーサルデザインの考え方に基づく設計・施工に努めてほしい。また、既存施設のバリアフリー化の推進に向け、部局横断的に全庁を挙げて取り組んでほしい。

そのお悩み、 議員にお聞かせください

34名の議員は、それぞれ考え方や政治理念に違いはあっても、市民の声、地域や団体の意見等をお聞きし、みなさんと共に考え、市政に反映させるよう活動しています。

市議会ホームページに、議員の連絡先を掲載していますので、身近なお困りごとやご意見など、まずは議員までお気軽にご相談ください。

議長宛に文書で提出する「請願・陳情」という制度の説明も掲載しています。

フォーラム開催報告 議会と議員の役割を考える

11月8日（日）、市議会主催による議会改革フォーラム「これからのまちづくりと山口市議会」を開催し、議員を含む約100名の参加がありました。

フォーラムでは、山梨学院大学法学部教授の江藤俊昭氏に「まちづくりと議会の役割」と題し、次世代が希望を持てるまちづくりに向けて、これからの議会、議員に求められる役割についてご講演をいただきました。その後、本市議会でこの一年間に取り組んできた議会改革の報告を行い、参加者にアンケート調査を実施しました。

さらに、11月10日から12月10日までの一か月間、議会改革フォーラムの様子をインターネット配信し、同時にアンケート調査も行いました。

アンケート結果や、それらを踏まえた今後の議会改革の取組状況等については、今後、市議会ホームページに掲載していきます。



江藤教授による講演の様子

議会の主な動き



10月

- 20日 第17回議会改革検討協議会
- 21日 新本庁舎の建設等に関する調査特別委員会
- 27日 議会運営委員会
- 28日 市議会だより等編集委員会
- 30日 広報広聴委員会

11月

- 2日 山口市新本庁舎の建設等に関する調査特別委員会
- 8日 議会改革フォーラム「これからのまちづくりと山口市議会」(ニューメディアプラザ山口)
- 9日 会派代表者会議、議会運営委員会
- 17日 第18回議会改革検討協議会、経済建設委員会管内視察
- 19日 新本庁舎の建設等に関する調査特別委員会
- 20日 議会運営委員会、執行部説明会、広報広聴委員会
- 30日 第5回定例会初日(～12月21日最終日)、総務委員会(陳情関係)



感染症対策をとり開催したフォーラム

12月

- 1日 議会運営委員会、会派代表者会議
- 4日 総務委員会(陳情関係)
- 7日 市議会だより等編集委員会
- 17日 新本庁舎の建設等に関する調査特別委員会、広報広聴委員会、第19回議会改革検討協議会
- 21日 議会運営委員会、市議会だより等編集委員会

おいでまや山口へ(行政視察の受け入れ)

各地から行政視察にお越しいただきました。

□受け入れ団体(10月～12月:4団体27名)

- 10月27日 神奈川県川崎市議会
- 30日 佐賀県議会
- 11月4日 佐賀県神埼市議会
- 5日 京都府宮津市議会

※10月から行政視察の受け入れを再開しました。

編集後記

昨年は新型コロナウイルスに明け暮れた年であり、今年もまだ、先行きが見通せない状況です。一般質問もコロナ関連やトビイロウンカの大被害など暗い話題が多い議会でした。今年は丑年です。ゆっくりと着実に前へ進みたいものです。(泉)

12月定例会号では前回に引き続き山口市が取り組んで来た多くのコロナ対策をご紹介します。市民の皆さんに一日も早く穏やかな日常が戻って来ることを祈りつつ、表紙写真には明るい未来にふさわしい希望の光、イルミネーションを撮影してみました。(湊)

次回定例会日程のお知らせ

(予定)

陳情の受付…2/5(金)まで 請願の受付…2/12(金)まで

日	月	火	水	木	金	土
2/14	15	16	17	18	19	20
					本会議 (初日) 10:00～	
20	22	23 天皇誕生日	24	25	26	27
28	3/1	2	3	4	5	6
	一般質問・質疑 10:00～		10:00～17:00 ケーブルで生中継	本会議終了後 予算決算 委員会		
7	8 教育民生 委員会 生活環境 委員会 10:00～	9 教育民生 委員会 生活環境 委員会 10:00～	10 総務 委員会 経済建設 委員会 10:00～	11	12 総務 委員会 経済建設 委員会 10:00～	13
14	15	16 予算決算 委員会 10:00～	17	18	19	20
				本会議 (最終日) 10:00～		

会議日は傍聴ができます。

議会の内容をウェブでご覧いただけます

- 山口市議会ホームページ
<http://www.yamaguchi-gikai.jp>



- インターネット録画中継
<http://cstream.c-able.ne.jp/yamaguchi-gikai/m/>



ご感想をお寄せください

議会や市議会だより、ホームページ等をご覧になったご感想やご意見をお寄せください。

住所：〒753-8650 山口市亀山町2番1号
電話：083-934-2854 / FAX：083-934-2658
メール：gikai@city.yamaguchi.lg.jp
あて先：山口市議会事務局「議会の感想」宛て

【表紙写真】

12月の亀山公園、山口県立美術館そばのクリスマスイルミネーションです。

空が少し明るい黄昏時に雄大なサビエル記念聖堂のイルミネーションがとても際立っていました。

市議会だより等編集委員会

委員長 倉重 浩 副委員長 大田たける
委員 泉 裕樹・湊 和久・中島裕一・野島義正
山本貴広・山本敏昭・植野伸一・伊藤青波
野村雄太郎

次号は5月1日です